

＼設立キックオフイベント／  
食のある居場所支援プラットフォーム  
構築プロジェクト(仮称)

# 学習会

参加  
無料



4.28 (金)  
13:00-15:30

食のある居場所支援プラットフォーム構築プロジェクト(仮称)を発足しました。  
キックオフイベントとして学習会を開催いたします。

## プログラム(予定)

- ◆プロジェクト設立 趣旨説明  
発起人 全国食支援活動協力会  
専務理事 平野 覚治
- ◆応援メッセージ  
JANPIA(一般財団法人日本民間公益活動連携機構)  
事務局長 大川昌晴氏
- ◆事例報告  
食のある居場所に関連した中間支援団体の事例から、  
活動の課題とそれを解決するための実践的な支援事例を学びます  
  
公益社団法人ユニバーサル志縁センター 専務理事 池本修悟氏  
特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク  
事務局長 伊藤みどり氏  
特定非営利活動法人スチューデントサポートフェイス  
代表理事 谷口仁史氏
- ◆質疑応答、意見交換会  
コメンテーター  
こども家庭庁 支援局 家庭福祉課  
企画調整官 兼 課長補佐 胡内敦司氏  
一般財団法人 食品産業センター  
専務理事 田辺義貴氏

## 対象

- 食支援に関わる活動を行っている方  
団体に対して支援を行っている方
- 行政、自治体関係者

## 会場

### 飯田橋レインボービル2階2C会議室

東京都新宿区市谷船河原町11  
JR 飯田橋駅西口 下車5分地下鉄 有楽町線・  
東西線・南北線・飯田橋駅神楽坂 B3出口 下車5分

### またはZoomオンライン会議

お申込み  
4/27まで



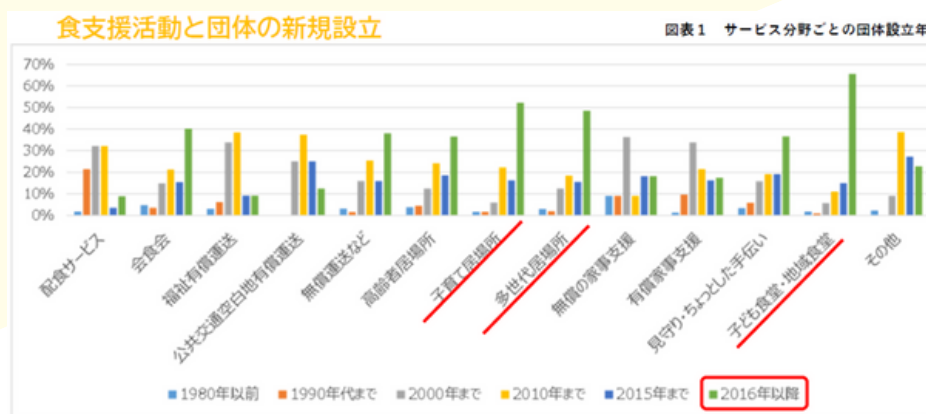
【主催・お問い合わせ】

<https://forms.gle/U9RCGZqjH54qxBaH9>

一般社団法人全国食支援活動協力会 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21  
TEL: 03-5426-2547 FAX: 03-5426-2548 EMAIL: saposen@mow.jp  
URL: <https://www.mow.jp>

# 発足の背景

食のある居場所づくりは、多様な世代が担い手や受け手として参加できる、地域の多様なニーズに応じて始められる活動として、近年広がっています。食支援活動とボランティアの年齢に関する調査では、子育て世代を主対象とする居場所、多世代を主対象とする居場所、子ども食堂・地域食堂は半分以上が現役世代(64歳以下)という結果が報告されています。



※地域住民の社会参加活動等を基盤とした互助促進の手法に関する調査研究事業（平成30年度厚生労働省老健事業）

特にコロナ禍に於いては、ひとり親世帯等何らかの支援が必要となる世帯に対する支援が子ども食堂等居場所づくり団体によって自主的に取り組まれてきました。食支援活動は居場所から生活支援まで、地域に応じて柔軟に活動を展開する素地があることから地域課題の把握と解決の糸口につなげる可能性があります。

本プロジェクトは、食のある居場所を通じて、地域の中で暮らし続けられるための居場所支援のプラットフォームを構築することで、少子高齢化に伴う「人口減少社会」「地域格差」「中山間地支援」などの課題解決に向けて必要なリソースをつなげる活動(ニーズ把握、学習会の開催等)に取り組みます。

## プラットフォーム発足にあたり

お声かけさせていただいた方(1月17日現在)

池本修悟氏

(公益社団法人ユニバーサル志縁センター専務理事)

谷口仁史氏

(NPO法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事)

古田秘馬氏

(株)umari代表取締役)

河崎民子副理事長、伊藤みどり事務局長

(NPO全国移動サービスネットワーク副理事長)

李炯植氏

(NPO法人Learning for All 代表理事)

山田健一郎氏

(公益財団法人佐賀未来創造基金代表理事)

中根裕氏

(パルシステム生協地域活動支援室)

近藤博子氏

(気まぐれ八百屋だんだん)

お申込み

4/27まで



<https://forms.gle/U9RCGZqjH54qxBaH9>